

上尾版スーパー・シティプロジェクト
～みんなで作る みんなが輝くまち あげお～
地域まちづくり計画



令和6年12月
(令和7年9月更新)
上尾市

取組の概要

まちづくりにおける課題

本市は、これまで一貫した人口増加のもとで発展してきたが、今後、減少に転じることが予測されている。また、高度経済成長期の急激な人口増加と核家族化等により、令和27(2045)年には高齢者人口が総人口の約37%を占めることも予想されている。こうした人口減少・少子高齢化に対応するため、多世代が暮らしやすいまちづくりが課題となっている。

加えて、持続可能な都市経営に向けた新たな行政サービスへの転換や、自然災害の頻発化に伴う地域全体のレジリエンス向上等についても、本市の重要課題として取り組んでいく必要がある。

まちづくりの方向性

人口減少・少子高齢化への対策として、「住みたい」「住み続けたい」と思える「暮らしの場として選ばれるまち」を目指し、コンパクトなまちの形成や幹線道路周辺における土地の有効活用により「便利」「快適」「活力」「安全・安心」「魅力」を備えた「質の高いまちづくり」を進める。

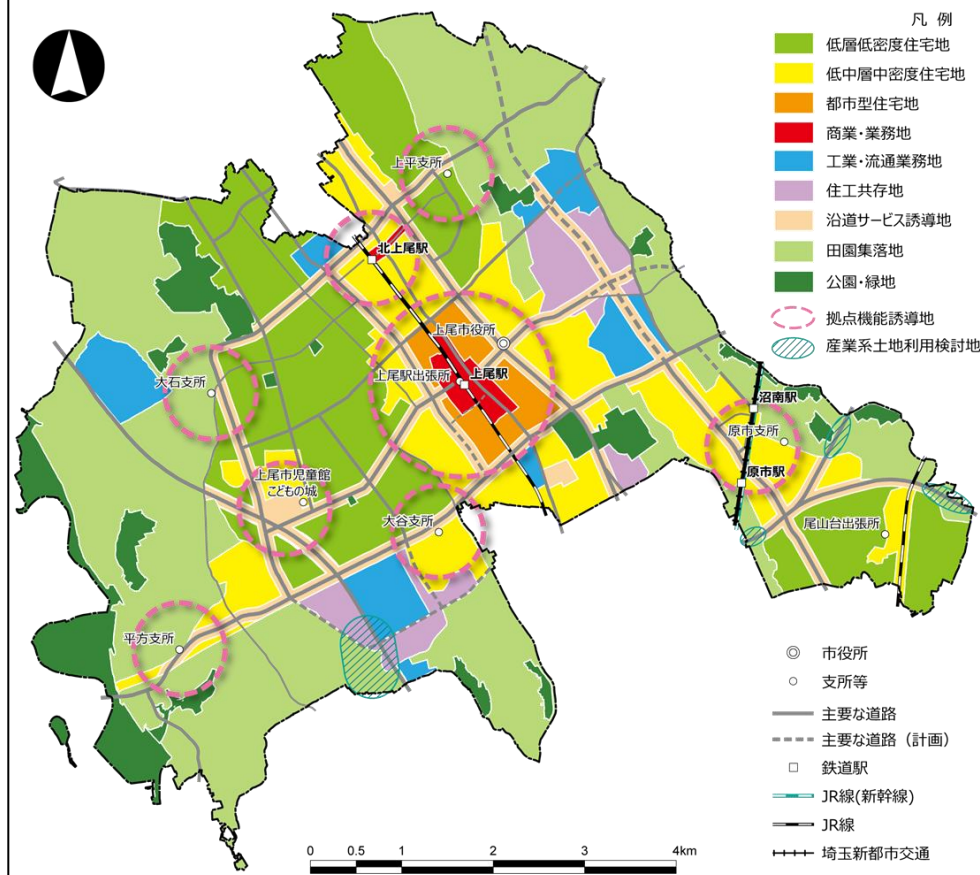
また、災害を防ぐ「予防」、被害を最小限に抑える「減災」、早期に暮らしを取り戻すための「復旧」、より災害に強いまちを形成する「復興」の視点から、まちづくりに取り組む。

他の計画における位置付け

- ・第6次上尾市総合計画
- ・上尾市ICT化推進計画
- ・上尾市無電柱化推進計画
- ・第3次上尾市地球温暖化対策実行計画
- ・上尾市都市計画マスタープラン
- ・上尾市地域公共交通計画
- ・上尾市地域防災計画
- 他

対象地域の位置及び区域 市全域

地図



地域の現況

人口・世帯の状況

本市の人口は、これまで増加傾向にあり、令和6年には、約23万人となっているが、今後、減少に転じ、緩やかに減り続け、令和27(2045)年には、約20万人になるとされている。年少人口、生産年齢人口ともに減少し続ける一方で、老年人口は、増加し続けており、令和27(2045)年には、高齢化率が約37%になると推計されている。

本市の長期的な人口動態では、平成26(2014)年以降は死亡者数が出生者数を上回る人口の自然減が続いており、社会増減については、おおむね転入者数が転出者数を上回る社会増の傾向が続いている。

開発の状況

本市の土地利用は、市街化区域が55.5%、市街化調整区域が44.5%となっている。機能的な市街地を計画的に開発し、土地利用の効率化を図るため、昭和40年から土地区画整理事業を推進しており、令和5(2023)年までに22地区691.68haの区域で事業が完了している。

一方で、市街地の農地が生産緑地地区に指定されるなど、首都圏にあって豊かな自然環境が残されている。農地などの自然的土地利用の割合は、市街化区域では8.6%、市街化調整区域では50.2%となっており、市域の広範囲に自然的な土地利用が分布している。

地域交通の状況

本市には、鉄道2路線、4駅が存在し、都心へのアクセスが良い点が強みであるが、各駅から自宅(目的地)までの移動手段は、徒歩と自転車の割合が約74%~95%と高く、今後の高齢化を想定すると、バス交通の利便性向上や利用促進が求められている。バス交通としては、民間バス路線(3事業者)が人口密度の高い地区をカバーし、上尾市内循環バス(ぐるっとくん)が民間バス路線でカバーできない市の周辺部や人口密度の低い地区を広くカバーし運行している。

また、市内西側を南北に貫く上尾道路に、高架式の新大宮上尾道路(さいたま市中央区~鴻巣市)の整備が予定されており、広域交通網との接続が進んでいる。

地域資源

本市は、大宮台地のほぼ中央に位置する起伏の少ない地形で、西境に荒川、東境に綾瀬川、中心部に鴨川と芝川が平行して流れている。

東京都心部やさいたま市等へのアクセスの良さから、ベッドタウンとしての性格が強いが、上尾丸山公園をはじめとした緑豊かな都市公園が大小146あり、自然を身近に感じることができる。

また、市内には、市民体育館、市民球場、平塚サッカー場のほか、県等の施設である上尾運動公園陸上競技場、武道館、埼玉アイスアリーナなどのスポーツ施設が充実しており、市民がスポーツを楽しむための環境が整っている。

まちづくりのコンセプトと事業全体の概要

まちづくりのコンセプト

将来都市像である「みんなでつくる みんなが輝くまち あげお」の実現に向けて、市民同士がつながりを持ち、協働でまちづくりに取り組むことで、誰もが安心・安全に暮らすことができ、将来にわたり市民と地域が輝き続けるまちを目指す。

また、「スポーツ健康都市」を宣言した市として、スポーツや健康づくりを通じて、健やかな心とからだづくりを推進する。

推進体制

まちづくりのコンセプトに位置付けた事業を推進するため、以下の組織等により推進する。

・上尾市都市計画審議会

【構成】上尾市、市議会議員、学識経験者、関係行政機関等

・上尾市街づくり推進会議

【構成】上尾市、市民、有識者、関係団体等

・上尾市かわまちづくり推進委員会

【構成】上尾市、学識経験者、平方地区の代表者、平方まちづくり協議会、関係団体等

・上尾市地域公共交通活性化協議会

【構成】上尾市、公共交通事業者、国土交通省、埼玉県警察、学識経験者、関係行政機関等

・上尾市環境審議会

【構成】上尾市、市議会議員、学識経験者、埼玉県、埼玉県警察、関係団体等

事業全体の概要

【コンパクト】

「コンパクト・プラス・ネットワーク」型都市構造の実現

- ・各拠点における生活に必要な施設を維持・集積し、拠点間を道路や公共交通でネットワーク化することにより、各拠点にアクセスしやすい都市構造を構築
- ・上尾運動公園と連携した中央拠点の賑わい創出・魅力向上
- ・平方拠点をはじめとした各拠点におけるゆとりと賑わいあふれる歩行空間の創出

【スマート】

新技術の活用による利便性の高いデジタルサービスの充実

- ・来庁が不要な電子申請サービス等の拡充
- ・デジタルサイネージ等による緊急・防災情報、イベント情報、観光情報等のタイムリーな情報配信
- ・バス情報のオープンデータ化の推進による公共交通の利便性向上及び利用の促進
- ・データを活用した市民の健康づくり

【レジリエント】

安全な暮らしを守るまちづくり

- ・公共施設等における太陽光発電などの環境配慮型設備の導入や太陽光等新エネルギーの活用、EV活用による災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築
- ・共助による地域防災力の向上
- ・災害時の情報伝達手段の整備

計画図

レジリエント

公共施設等への太陽光パネルの設置の推進



スマート

デジタルサイネージによるタイムリーな情報発信



コンパクト

平方拠点におけるコミュニティの醸成と賑わいの創出



コンパクト

上尾運動公園と連携した中央拠点の賑わい創出・魅力向上

コンパクト

公共交通のネットワークにより各拠点にアクセスしやすい交通環境を整備



拠点機能誘導地

【スマート】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール					備考	
			R6	R7	R8	R9	R10		R11以降
公式LINEアカウント活用事業	市	市の公式LINEアカウントに、LINE上で各種行政手続きを行えるようにする機能を追加する。	システム構築	運用					
電子申請サービスの拡充	市	行政手続のデジタル化を行うことで市民の利便性の向上、効率的な行政運営を目指す。	電子申請サービスの運用、随時見直し・拡充						
デジタルサイネージによる情報の配信	市	地区の行政拠点や公共施設、駅に設置したデジタルサイネージによる緊急・防災情報、イベント情報、観光情報のタイムリーな配信を促進する。	情報の配信						
市内循環バス「ぐるっとくん」情報のオープンデータ化の推進	市 バス事業者	市内循環バス「ぐるっとくん」情報のオープンデータ化を推進し、公共交通利用促進や利便性の向上、情報公開による自由な二次的利用の促進を図る。	関係者間協議	オープンデータの公開・運用、随時検証により見直し					
健康ポイント事業の実施	市	市独自の健康ポイントアプリを導入し、市民の健康づくりへの参加意識を高め、データを活用した市民の健康づくりを推進する。	システム構築	運用			評価分析	事業検討	

【レジリエント】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール					備考	
			R6	R7	R8	R9	R10		R11以降
公共施設等への太陽光パネルの設置の推進	市	防災拠点等となる公共施設において太陽光発電設備を導入し、発電した電気を自家消費することで、脱炭素化に向けた消費エネルギーへ転換するとともに、災害時の自立電源として利用する。	構造計算等調査 (本庁舎)	設計等 (本庁舎)	実施検討 (その他の公共施設)			設置・活用 (本庁舎)	埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用予定
公共施設等における災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築	市	防災拠点等となる公共施設において蓄電池・V2Xシステムを導入し、災害時においても蓄電池・EVを非常用電源として活用する。	実施検討		導入・運用				
共助による地域防災力の向上	市 自主防災会	防災訓練や防災士の育成等を通じて、自主防災組織をはじめとする市民の防災知識の取得や防災行動力の向上を支援する。	総合防災訓練や避難所運営訓練等の実施						
水害対応に向けた情報伝達手段の整備	市	河川監視カメラや河川水位計等の一体的な水害対策情報を市民に提供する。	情報提供の推進、情報伝達手段の維持・整備						
無電柱化の推進等による都市防災機能の強化	市	幹線道路等を対象とした無電柱化を推進し、災害発生時に道路ネットワークを遮断させない道路環境を整備する。	上尾平方線 電線共同溝整備工事 (富士見橋～市民体育館前交差点)			上尾平方線 電線共同溝整備工事 (市民体育館前交差点～国道上尾道路)			【コンパクト】事業一覧の再掲

KPI

コンセプト	指標	基準値(調査時点)	最新値(調査時点)	目標値(達成年度)	備考
全体共通	上尾市を住みよいまちだと思ふ市民の割合(市民意識調査)	69.8% (令和5年度)	— (令和10年度調査予定)	基準値(69.8%)以上 (令和10年度)	
コンパクト スマート	市内循環バス「ぐるっとくん」利用者数	444,371人 (令和5年度)	462,522人 (令和6年度)	468,262人 (令和12年度)	
スマート	LINE行政手続きシステムによる申請件数	0件 (令和6年度)	195件 (令和6年度末)	1,500件 (令和8年度)	SDGs重点推進施策
レジリエント	防災士の育成人数	171人 (令和5年度)	186人 (令和6年度)	208人 (令和7年度)	第2期上尾市地域創生総合戦略